

ゼロアップセンター アンビアン便り 6月

徒然なるままに……

以前、最先端科学情報の中から “宇宙はひとつの巨大な量子場の海” 我々は『エネルギーの海』の中の 意識エネルギー体 と考えられる事をお伝えしました。それについて意味が良く解らないので教えて欲しいとの声が有りました。以前、科学雑誌 「ニュートン」 に全ては波動エネルギーから成っていると言うことが載っていました。エネルギーとして見ると、宇宙はそのエネルギーで充満した(分けることの出来ない)ひとつの海といえます。我々はそのエネルギーの海に意識エネルギーとして融け込んでいる。エネルギーとしての場所の一部分を占めている。言わば意識の『場』のエネルギーである。すなわち、我々は宇宙『場』というひとつの広大なエネルギーの海の中の意識『場』なのだということが最先端科学で解ってきたということです。最先端科学とスピリチュアルが重なりつつありますね。『場』はフィールドです。“量子場の海” は波動エネルギーの充満した『場』。ひとつの広大な意識『場』は『ワンネス』を表現していますね。以上のことを意識で感じてみて下さい。

頭で考えると理解しがたいかもしれませんが、どちらかという私は感覚人間なので文章で説明するのが苦手ですが、せっかく 書く ことにチャレンジしているのですからトライしています(汗)。プラス、その道の大家・本・ブログやシンクロニシティなども参考にさせて頂いて、この意識エネルギーの『場』を数回のシリーズで一緒に感じましょう。

では第1回目です。

宇宙はひとつの『エネルギーの海』

フィールド = 『場』 = 空間 = 無

1. 「有る」と思ってたなら「無」かった

マトリックスといえば「仮想現実空間」「共感覚幻想」を描いた映画を思い起こします。ネットで調べると元来の意味は「生み出すもの」を意味する言葉で、ラテン語の「子宮」が由来とのこと。無から有が生まれることを「共感覚幻想」と見なしているのかと妙に感心しました。我々の体も同じく、エネルギーフィールド(『場』 = 空間 = 無)から生み出された形(物質 = 有)です。これは実は「共感覚幻想」といえるのです。

我々は物質と物質の間を単に空間とっています。同じく物質も元来エネルギーで無 = 空間で、隙間だらけです。原子について物理で学んだと思いますが、原子核のまわり

を電子が回っている事、原子核と電子の間は例えて言うなら、太陽と地球くらい離れているとか。

このように原子は隙間だらけで、物質といっても元来エネルギーで、実体は無いのです。有ると思っているのは幻想で、無いものを見ているのです。

我々の体も同じです。体を分解していくと部位・臓器～細胞～原子～電子・(波動)エネルギーで実体は無いのです。このことを仏教で『色即是空・空即是色』と言います。

色 = 形有るものです。有すなわち無、無すなわち有と。

「有る」ように見えるものは実体の「無い」もの。なので幻想を見ていると言えますね。……と言われても、触ると手応えがあるし……??

物理法則で電子と電子が反発力を持っていて、磁石のN極とN極、S極とS極のように反発力で押し返すのです。だから肉体、物質の中に手が入っていかないし、手応えがあるのです。

2. 見ているのは幻想:自分(頭の中)しか見ていない

幻想を見ていると言うことを別の方向から感じてみましょう。物を見るのは水晶体に光が入り、網膜に像を結び、視神経細胞を刺激し、神経で大脳に繋がり、脳の中の刺激により映像を見ます。目で見ていると思っていますが、網膜の壁面では像は逆さまです。脳の中で変換された映像を見ます。色については光の3原色(赤・緑・青)の原理です。3種の視神経細胞の刺激から色を認識しています。赤なら赤の周波数のエネルギーが赤の視神経細胞を刺激し、赤の神経がONになり脳に繋がって、脳の中の刺激が赤と認識します。

ある振動数の光エネルギーが網膜を刺激し……脳の中で変換し映像化している。

その物質が有るわけではないのです。見えている映像は自分の頭の中に有り、外に有るものではありません。自分の内部を見て認識しているという事です。

全ては脳の中での刺激で、錯覚です。幻想を見ていると言えますね。

以上で宇宙のエネルギーフィールドに融け込んでいる自分を感じられたでしょうか?

共感覚幻想のニュアンスはつかめたでしょうか?

感じて下さい。感じている“あなた”が『実在』です。意識エネルギーです。

感じている『場』が「今、ここ」です。すなわちフィールド「響き合う生命・意識・宇宙」です。感じましょう!

ゼロアップセンター アンビアン
豊中市向丘2 - 10 - 7 - 202
TEL 06 - 6854 - 8810
E-MAIL zero@anbian.jp
ホームページ <http://anbian.jp>